

認知症を考える県民フォーラム 開催要綱

テーマ「認知症を地域で支える仕組みづくりを考える」

1. 趣 旨

超高齢社会を迎えている今日、認知症高齢者の数も増加してきており、認知症高齢者数は、現在300万人を超え、2025年には470万人に達すると推計されています。

こうしたなか、厚生労働省では、平成25年度を初年度とする、「新・認知症対策5か年計画」(オレンジプラン)を策定し、早期発見、早期診断、早期対応の体制づくりとともに、認知症の方を地域で支える仕組みづくりを推進することとしています。

そこで、医療・保健・介護・福祉関係者及び住民が連携し、認知症になっても安心して暮らせる地域を目指して県民フォーラムを開催します。

2. 主 催 社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会

3. 共 催 エーザイ株式会社 (予定)

4. 後 援 秋田県 (予定)

5. 期 日 平成26年 3月 5日 (水)

6. 会 場 秋田キャッスルホテル
〒010-0001 秋田市中通1-3-5 TEL018-834-1141

7. 参加対象

県・市町村社協役職員、県・市町村行政職員、社会福祉法人・施設関係者、民生児童委員、保健・医療関係者、町内会・自治会関係者、地域福祉に関心のある方等

8. 参加定員 200名

9. 参加経費 ・参加費 無 料
・昼食代 1,000円 (希望者のみ、受付時に徴収いたします。)

10. 申込方法 別紙申込書により2月25日(火)までにFAXでお申し込みください。(定員を越える場合は調整させていただきます)

11. 内 容

受 付 9:30~10:30

基調講演 10:30~12:00

「認知症の予防と早期発見」(仮題)

長田 乾 氏 (秋田県立脳血管研究センター、
神経内科学研究部長、医学博士)

昼食・休憩 12:00~13:00

※会場内は飲食可能となっております。お弁当を本会にご注文されるかご持参、もしくは近隣のお店で昼食をお取りください。

シンポジウム 13:00~15:30

テーマ「認知症を地域で支える仕組みづくりを考える」(仮題)

【コーディネーター】 長田 乾 氏 (秋田県立脳血管研究センター、
神経内科学研究部長、医学博士)

【実践発表者】(予定)

- ・NPO 法人 もりおか認知症サポーターズ もりもり会
代表 工藤 克行 氏

認知症の人と家族、地域住民など、認知症に関心のあるすべての人たちが気軽に立ち寄れる場として「思いやりカフェ」を開設。作業療法士やケアマネージャーといった専門職が常駐し、認知症の介護の仕方や予防法などを気軽に相談できる環境を作っている。

- ・秋田県認知症疾患医療センター 専従相談員 船木 聡 氏

県内初となる「認知症疾患医療センター」を昨年10月1日、秋田県立リハビリテーション・精神医療センターに拠点を置き、認知症に関する相談などに応じている。

- ・秋田県美郷町社会福祉協議会

認知症になっても安心して生活できるよう地域全体(町の宅配業者・商店等)で見守りネットワークを構築し、徘徊された方をできるだけ早く、ご家族の元へ安全にお返しするためのシステムとして、「美郷町認知症 SOS おたすけネットワーク」に取り組んでいる。

- ・秋田県ホームヘルパー協議会 会長 米谷 ゆかり 氏

ホームヘルパーとして在宅で暮らす高齢者の生活支援で行ってきた経験を踏まえ、認知症の方への接し方や認知症の方が在宅で暮らし続けるための近隣住民の関わりなどについて提言する。

閉 会 15:30~

12. 問合せ先

秋田県社会福祉協議会地域福祉部/地域福祉・ボランティア振興担当: 煙山・加藤
TEL 018-864-2714 FAX 018-864-2702

認知症を考える県民フォーラム 参加申込書

秋田県社会福祉協議会地域福祉部：煙山あて
FAX 018-864-2702

機関・団体名 _____

担当者名 _____

連絡先電話番号 _____

No.	氏名	役職	昼食	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

*「昼食」欄には、昼食の手配を希望する場合に○印を記入してください。

2月25日（火）までにFAXで秋田県社協地域福祉部：煙山あてに送信してください。